

猫八営業部

お前の女

NTR 60

俺の女

DOJIN R18 成人向け



ごめんなさい...
サイゾウさん...

どうして
欲しいんだ

良いろ

すは

おらあ
孕めえ

ほら
いい加減
チンポ離せよ

親
よ
猫
舌

どうだ
ミサコおっ

ひび

サインウ
ひゃんより

数倍ひび

わたし

美に
万の女に

トさんの
子で

せでっ
せでっ

おも
おも

ええ
今出したのよ

おも
おも

おめ
おめ
おめ

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

おも
おも

あゝあ
まくた小遣い
減らされたわ
バイトすつかな

良いよな
お前んちには
無縁な話でさ

.....

何も知らないで...

何代続いているかも
わからない
エリート家系

誰もが羨む
血筋だろう

そんな恵まれた
家系に生まれた
俺が今思う事...
それは

普通の家に
生まれたかった...

優秀でいる事を
義務付けられ

誰かと
比べられる日々

劣っていると
確信された瞬間

家族に
蔑まれる

親父は
出来の悪い俺を見限り
今では
俺に見向きもしない

そんな父親が

あ
おかえりなさい
アキヒトさん

そんな親父が
再婚した

お弁当
どうでした？
お口に合ったかしら？

は…はい…

まっそれは
よかったわ

ミサコさん

座って
今お茶入れるわね♪

はい…

親父の再婚相手で
美人で
スタイル抜群

家族で唯一
俺にも分け隔てなく
接してくれる

学校から帰宅して
彼女と他愛のない
話をする

この時間が
俺の唯一の癒しだ



そして
すぐに現実を
思い知らされる



親父に抱かれて
獣のような声で喘ぐ
ミサコさん



劣等な俺は
意中の人
愛することすら
許されないのか…

お帰りなさい
アキヒトさん

今
お茶を入れますね

親父は毎晩
この身体を好きに

大丈夫ですか？

顔色が
悪いみたいだわ

チンポん

欲望が日に日に
増大していく

すみません…
夕食まで
部屋にいます…

え…ええ…

毎日あんな身体
見せつけやがってっ

これじゃあ
生殺しだっ

最近では録音した
ミサコさんの
喘ぎ声をおかずに

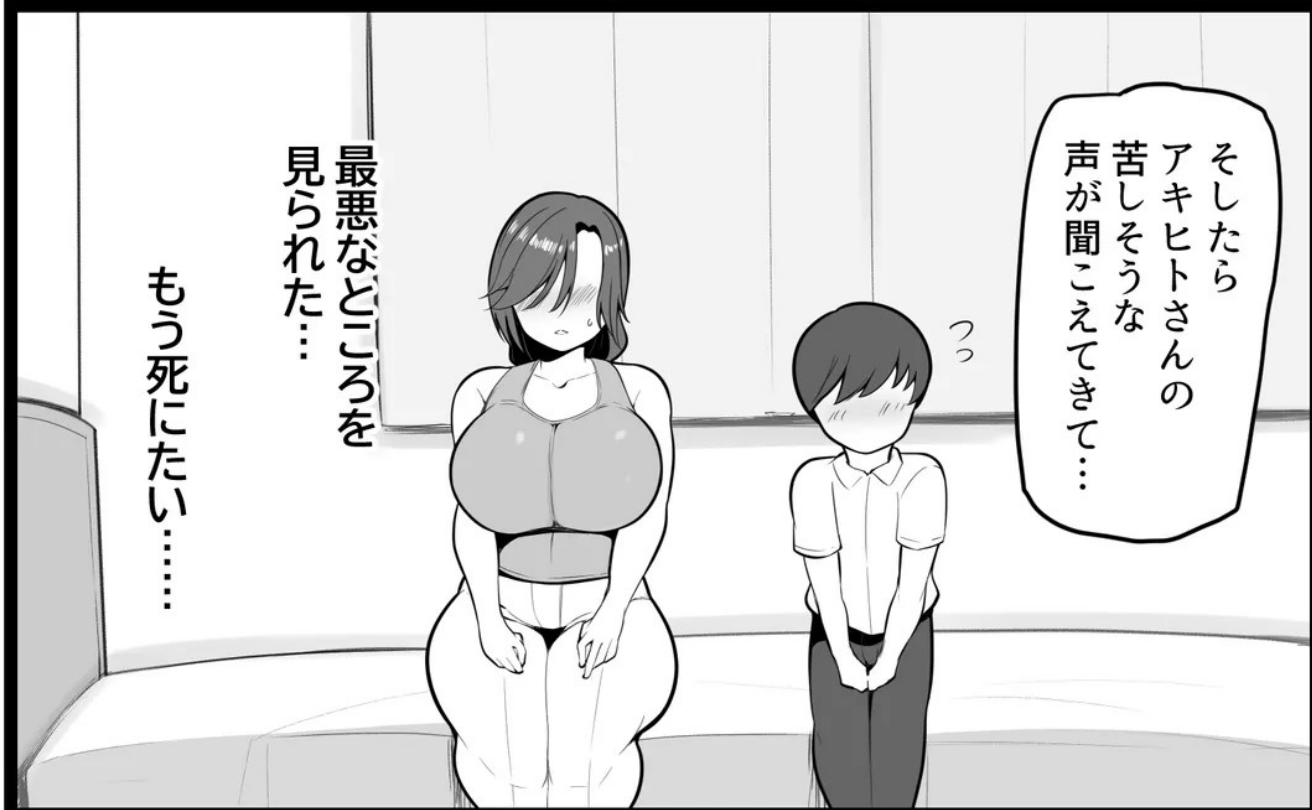
オナニーをするのが
日課になってしまった





アキヒトさん
大丈夫ですか？

もし辛かったら
お薬でも…



そしたら
アキヒトさんの
苦しそうな
声が聞こえてきて…

すみません…

ノックは
したんですが…

最悪なところを
見られた…

もう死にたい…



あの…
アキヒトさん…

はっはいっ

ドキン



私でよろしければ…

お詫びに少しだけ
お手伝い
させてください…

っ！？

この状況は
なんだ…？

大丈夫…？
痛くない…
かしら…？

そんな疑問は
すぐに快樂で
吹き飛んだ

長くて太くて
形も凄いわ…

は…はい…

すつごく
立派…

いつも親父にも
しているのか
ミサコさんは手慣れた
手付きで締め上げていく

いつでも
いいですからね
アキヒトさん

あっ♡
ミサコさん
あっ♡

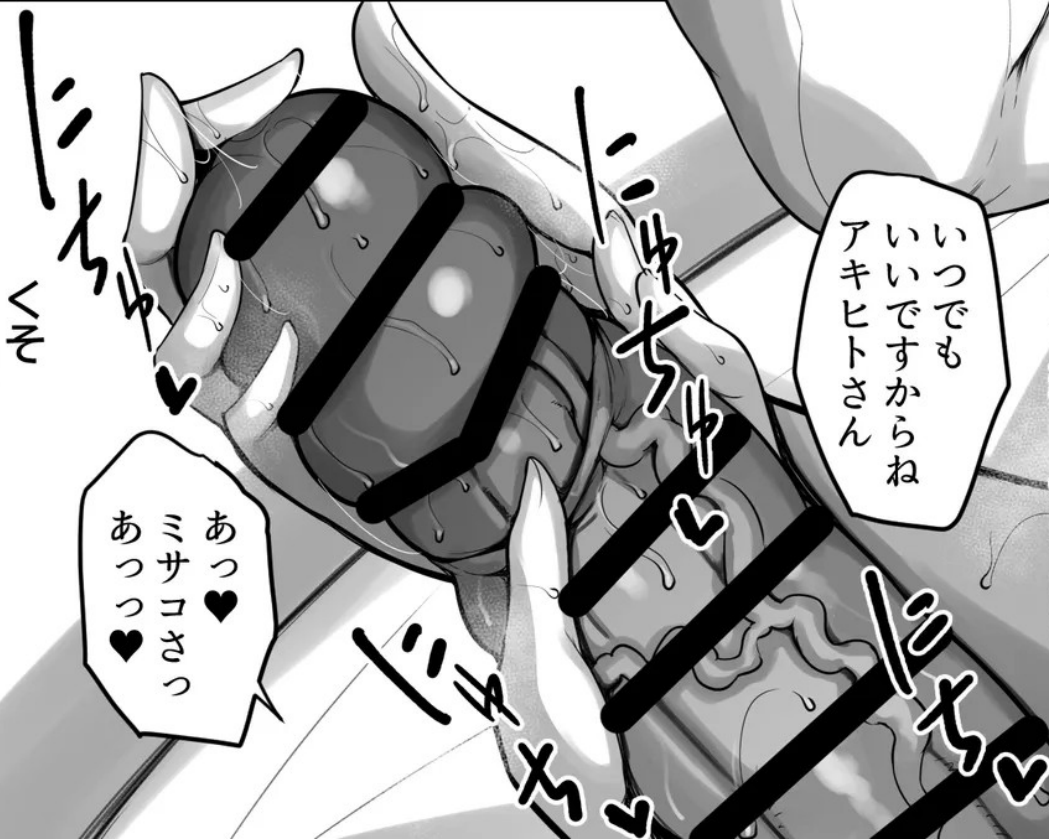
こんな時でさえ
親父の影を感じなければ
いけないのか…

ビクビク
細くて長くて
柔らかい繊細な指

背中に感じる
柔らかい感触

甘くて
クラクラする体臭

耳元で感じる吐息…





この時から
俺のブレーキは
音を立てて壊れた



ドキン

やだ：
乳首が…

はっ
はっ

たっ
ん
30

ぶるん
ん
ん

N
N

凄い迫力…♡

初めて見る
女性の生おっぱい…

恥ずかしい
ですから
はやく…

あん…
見られてる…

まじまじと…

生の感触…
全然違う…

ずし

手に
吸い付いてくる…

乳首が隠れてる…
陥没乳首って
奴が…

ヒッ
ヒッ



歯は立てちや…
ダメですよ…

中の乳首…
大きくなってきた

あ…♥
この子…
舌使い上手…♥



陥没乳首って事は
中に隠れて
いるのか？



よし先っぽが
出て来た

やだっこれっ
乳首だけでっ♥

だめっ♥
イツちやつつっ♥
♥♥♥

あっ♥
まって♥
アキヒトさんっ♥

だめっ♥
アキヒトさあん♥

これを
吸い伸ばしてっ

ミサコさんは
弓形に仰け反った
かと思えば

そのまま
腰から崩れ落ちた

おっぱいだけで
イカされちゃった♡

こんなの初めて…

満足しましたね？
アキヒトさん…

私…お夕飯の
用意致しますので

ガッ

ガッ

ビク

ビク

はは

はは

ガッ

ガッ

あゝ
あゝ

こんなの見せられて

ニクニク

ひゃっ
アキヒトさんっ!?!

重…

欲望が抑えられる
わけがない…

ニクニク



アキヒトさん？
何をするんですか？

はるん

この女が欲しい

これを
ほどいて下さる...

あ
うぬぬ...

きゃっ!?

キュ...

アキヒトさんっ!?







凄いつ♡
なんか出て来たっ

おっ
おっ
おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ



おっ
おっ
おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ
おっ
おっ

この女
どんだけ
エロいんだ♡



ドロツドロ…♡

すごいな♡
こんなに
糸引いてる♡

ああ…♡
もう許してえ…♡

おっ
おっ
おっ
おっ

なにを
する気ですかっ!?

アキヒトさんっ!?

だめだもう
欲望を抑えられない!
フッ...

まっ待って!!
だめっ!!

入れちや
だめえええ!!

この女が欲しい

ズズズズ

ヒッ

ドゥ

グハッ...

ほっ
ほっ

ほっ
ほっ



俺...じや...♡

ズズ

夢にまで見た
ミサコさんと♡

はっ

おは
おは



私...じや...♡

ズズ

ズズ

ズズ

義理でも
親子なのに
アキヒトさんと

おは
おは

おは

SEX JUNKEN ♡

すっごい締まる
気持ちいい ♡

だめ ♡ ♡
この子凄いつ ♡ ♡

アキヒトさつ
動いちゃダメつ ♡

うるさい口だな
塞いでやる ♡

お願いですから
これ以上はつ ♡

もっと味わいたい
この感触をつ ♡

こんなの知ったら
オナニーなんて
戻れないつ ♡

凄いセックスって
こんなに凄いのかつ





イカされ

ちやっぴい♡♡

おほおほ

おほおほ

んんん

んんん



なんだ?
身体をビクビク
震わせて???

いったのか?

俺がイカせた?

初めての子に
イカされ
ちやっぴい♡

おほおほ

んんん



アキヒトさんっ♡
ダメっ♡

今動いちや
ダメですううう♡

足りない
こんなんじゃないっ♡
全然足りないっ♡

もっとイかせたい♡
イけ♡
もっとイけ♡

親父以上に
イかせてやるっ♡

ずっと俺を
誘ってたんだろ？

このスケベ女っ♡

アキヒトさんっ♡



またビクビク
してる♥

股が熱いぞ
何か漏らしてるのか？

またイッたな
でも♥

あぁ…またお潮
出ちゃってる…♥

あー

ビク

ビク

ビク

ビク

ビク

ビク

あー

あー

親父の時は
こんなんじや
なかったぞ♥

もっと鳴けっ♥
下品な声で喘げっ♥

ダメ…
このままじゃ私…
この子に…♥

あー

あー

あー

150000

おののけ
おののけ

出てくる

クク

クク

支配されて
ちゅんちゅん



どうですか？
ミサコさん♥
俺の精子

親父と比べて

あ…♥
ずっしりと重くて…♥

熱くて量も
凄いです…♥

親父よりも？

……はい……

ん

ん

ん

はぁ…

はぁ…

ん

ん

ん



こんなの
知らないっ♡

知らないっ
知らないっ♡



♡☆☆☆☆☆

言いますっ
白状しますっ♡
誘ってましたっ♡

毎晩あんなに
愛して貰って
いるのに
満足できないのお♡

誰もいない昼間
ずつと
オナニーしてたん
ですっ♡

家政婦雇いたく
ないのも
オナレなく
なるから？

そうですっ♡

このエロ女♡

お前の本性
全部暴いてやるから
覚悟しろよ♡
ミサコ♡

ひいい♡
ゆるしてええ♡

アキヒトさんっ
凄いつ♡

ドンドン
うまくなるっ♡



はは♡
こんなに出せるなんて
自分でも驚いてるよ♡

ミサコも
随分嬉しそうに
鳴いてたな♡

童貞に
イカされまくって
気持ち良かったか？
ミサコ♡

はひい…♡
凄かったですう…♡

明日も明後日も
その次の日も
ずっと♡

若い子って…
こんなに凄いのね…♡

またするからな
ミサコ♡

はひい…♡
わかりましたあ…♡

この女は
俺の物だ

その日以来
僕の日常は
大きく変わった

お♥
言い付け通りだな

朝は
目覚ましフェラ

偉いぞミサコ♥

おふあよう
ごらいふあふ…♥

アキふイト
ふああん♥

朝からこんな
凄いのね…♥

時間に
余裕があれば
トイレで性処理
をさせる

そんなこと言つて
マンコぐちよぐちよ
じゃないか♥

フェラで
発情してたな
このスケベババア♥

アキヒトさんっ♥
遅刻っ♥
しちゃうますっ♥





だめっ♡

おん

アキヒトさん♡

いやっ♡

ここでは嫌なのお♡



まだまだ
終わらないぞ♡
ミサコ♡

もう一発だ♡

あ…♡
アキヒトさん…♡

親父が
帰って来るまで

この身体を存分に
味わう♡



寝室だと
親父に抱かれるとき
思い出すからか？

丁度いいや
俺のを
しっかり覚えて♡

毎晩親父のと
比べるんだぞ♡
ミサコ♡

いやっ♡
そんなのいやあ♡

夫婦の寝室では
背徳感からか
ミサコは
ピンピン感じる

それがたまらなくて
定期的に
寝室で犯すように
している



確認してやるよ♥

あ…♥
だめ…♥

乳輪ごと
こんもり勃起
させやがって♥

これで
誘ってないは
嘘だろ♥

ほろん

ほろん

たろん



まって
乳首弱いん
つですうう♥

知ってる♥

おほ
おほ
おほ

ピク
ピク
ピク

まん

まん

まん



あ…
アキヒトさん…
ホントに今日は…



お夕飯の用意も…

おほっ!?

ほろん

いっ言いますっ♡

白状しますっ♡

イジメてほしくて
誘ってましたあ♡

お♡
イッた♡

お望み通り
たっぷり
イジメてやるよ♡

特にこの
下っ品な乳首を
徹底的にな♡

私は完全に
アキヒトさんの
言いなりです

嬉しいだろ？
ミサコ♡

はひい…♡
うれい…♡
れすう…♡



徹底した
乳首責めに

この日俺は
初めてミサコを
失神まで追い込んだ

あれ？
トンじゃった？
まあ容赦しないけど♥

ほら♥ミサコ♥
存分にイって
いいぞ♥

だが
その程度で
許したりはしない

親父が帰る
ギリギリまで弄ぶ

おかえりなさい…

サイゾウさん…

ああ
変わりないか？
ミサコ

はい…

当然俺に抱かれて
ガックガクの身体で
親父を出迎えさせる

やだ…♥
乳首の勃起が
治まらない…♥

その光景に
俺の欲望は更に増幅する





親父が近くにい
いようが関係ない

だっダメですっ
アキヒトさんっ

ああん...♡
ダメなのに...
どうして...♡

舌出せ♡

バレちゃい
ます...♡

だっ♡

っ♡



俺がしたいときに
この身体を弄ぶ

チンポ
突っ込んだら
すっかり従順♡

長子初で

いも通りの

奥にメ

っ♡

ごめおまよっ♡

無敵のオナ

っ♡

あ…あの…
アキヒトさん…

こんな格好…
恥ずかしい…
です…

ミサコの
ドスケベボディには
ぴったりだぜ

こんな身体
生で楽しめるなんて
最高

どこからこんな
エロい匂い
出してるんだ？
匂いエロっ

っ!?

はちゅ

はちゅ

はちゅ

え…あ…
今日は…

うん
知ってるよ



超危険日でしょ♡

さっさと
堕ちろよ♡
いつもみたいにさ♡
ほらほら♡

てかするよ♡
もう限界♡

こんなに
発情してたら
丸わかりだつての♡

熱っ♡

そんな
誘惑ダメですう♡

早くコイツで
ホジくり
回してえ♡

やだ♡
アキヒロさん
つたら♡

私を
今日でガツツリ
孕ませる気だわ♡

だめれす…♡

ダメなのに…♡

頭の中
交尾の事で
いっぱい♡





突き上げやっべ♡

生チン
ピストン
やっべええ♡

墮ちる墮ちるっ
墮ちるううう♡

プリップリのヒダが
絡みついて来るっ♡

腰が
止まんないっ♡

生って
こんなに
凄いのかっ♡

どうだ♡
ミサコっ♡

凄いだろ
俺の生チンはっ♡

チンポに
支配され
ちやうううう♡

ミサコっ♡

おほい

おほい

孕ませてっ♡
孕ませて下さいっ♡

おほい

アキヒトさんの
太つとくて
強い精子で

おほい

おほい

確実に
貴方の女に
堕としてくださあい♡

自分の口で
ちゃんと言えっ♡

どうして
欲しいんだ♡

ごめんなさい...
サイゾウさん.....

わたし

よしっ
ミサコっ♡

出るぞっ♡

ブルッ





おおお
おおお

おおお

おおお
おおお

ぬ



遂に
孕ませた♡

あ

僕が
孕ませたんだ♡

元氣過ぎるの
プリツプリの
若い精子が
子宮で暴れ
まわってる♡
これ…完全に
デキちゃったあ♡



おへソの裏つ側
擦られるのっ♡

親父は
してくれなかった？

ないない♡
そこまで
届かないのお♡

はは♡
そうか♡

そこっ♡
そこ好き♡

舌もつと
絡ませろ♡

ふあい♡

ここ好きだろ
ミサコ♡

おらあ♡
孕めえ♡

おほおおおお♡
ダメ押し種付け♡
やっべえええ♡



丁寧にお掃除
するんだぞお♡

ふわああい...♡♡

あつ♡
ちよつ♡

ほくら♡
ミサコお♡

吸い付き
過ぎ♡

あつ♡
ちよつ♡

まったく
掃除だけって
言ったのに

勝手に
搾り取りやがって♡

ちんぽほい♡
ちんぽほい♡
ちんぽほい♡
ちんぽちんぽ

ほくら♡
いい加減
チンポ離せよ♡

聞いているのかよ♡
このドスケベ女♡

おちんぽ♡
おちんぽ♡
おちんぽ♡
ちんぽ♡



あゝ♥
次の種付け精子
上がって来たあ♥

また孕ますぞ♥
ミサコお♥



孕めえ♥
エロ女あ♥

まだ出るっ♥

あゝ♥
おっぱい
おっぱい

おらおらっ♡
堕ちろっ♡
孕めっ♡

んおぐく...

おおぐ...

もう
堕ちてますっ♡
孕んでますっ♡

堕ちろっ♡
孕めっ♡

堕ちろっ♡
堕ちろっ♡
おおお♡

もう何度も
太っとい種付け精子
ぶち込まれて

もうとつくに
私の雑魚おマンコ
降参しちゃって
ますうう♡

うるせえっ♡
何度でも孕めって
言っただよっ♡

おおおおおお♡
数十発目のダメ押し
種付けやっべえ♡





誰が休んで良いって
言ったんだ？
ミサコ♥

ほら♥
早く掃除♥

精子
空になるまで
撃ち込んでやるからな♥

ふああい…♥

ヒン

ギン

ヒン

ヒン

ヒン

お

お

お

は

お

お

